

(公財) 北海道サッカー協会 強化指定審判員担当インストラクター

スキルアップ研修会①報告書

1. 日 時 令和8年4月19日(日) 9時30分～15時30分
2. 場 所 帯広の森研修センター 研修室1
3. 参加者 講 師：村山 尚哉(審判委員会指導者グループリーダー、サッカー1級審判インストラクター)
古曽部 統太郎(JFL プールアセッサー、サッカー1級審判インストラクター)
受講者：12名
4. 研修内容 **主な研修内容は以下のとおり。**
 - 開講式
 - 講義①・2026シーズンに向けて(村山)
 - 講義②・アセッサー評価について(古曽部)
 - 昼食・休憩
 - 講義③・事象分析について、実践(村山、古曽部)
 - 閉講式・振り返り・解散



【HKFA 審判委員会指導者グループ リーダー 村山尚哉】

例年開催している開幕前の強化指定審判員担当インストラクタースキルアップ研修会、今回も帯広にて開催しました。1期2年で担当していただいているアセッサー、今年度からは新たなメンバーを加えての2年がスタートします。最初開幕に向けて1年間の活動の流れ、目的、アセッサーとしての資質や役割、競技規則の精神についてお話しさせていただきました。昨年に引き続き JFL プールアセッサーの古曽部さんにも講師として参加していただき、評価のポイント、見る視点、レポートの記入方法について講義していただきました。午後からは JFA としても重要なスキルと捉えている『事象分析』について、実践も交えて進めました。参加者を3グループに分けて、それぞれ1つの事象を分析していただきました。ディスカッションを行うことで色々な考え方や見解を共有でき、引き出しが増えていくことが今後の審判指導の活動に向けて大きなメリットと考えています。審判指導者が常に学び、更新していくことが質の高い、レベルの高い審判員育成に繋がります。今シーズンもよろしくお願いいたします。

以下、参加者からのコメントです。

苫小牧地区 今川一輔

本研修会に参加させていただき、誠にありがとうございました。

講義を通じて、多くの「気づき」と「学び」を得るとともに、審判指導者としての技術向上につながる大変有意義な時間となりました。

アセッサー評価の講義（アセスメントレポート作成）では、評価点の根拠を的確に整理し、簡潔かつ明瞭に（ショート・シンプル・クリア）に記載することの

重要性を学びました。また事象分析の講義および実践においては、判定の根拠を

『考慮事項』に基づき分析する必要性について、改めて認識を深めることができました。今後は、本研修により得た知識および経験を活用し、さらなるスキルの向上に努めてまいります。

結びに、本研修会の企画・準備・運営にご尽力いただきました講師の皆様ならびに参加者の皆様に対し、心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

オホーツク地区 大石かおり

スキルアップ研修会に参加させていただきました。

今回で3回目の参加になりますが、競技や競技規則の精神の理解の必要性や審判員への接し方を再確認し、事象分析からの新たな気づきを得ることができました。

「支え手」のように使われなくなった言葉や、「よく首を振る」など今までは良しとされていたことが変わっていることもたくさんあります。インストラクターも常にアップデートしていくために、このような研修会などで講師の1級INSの方々から知識を得られる機会を大切に、審判員にはもちろん所属地区などでも共有していくことが私たちの役割だと感じました。



小樽地区 岸本拓洋

この度、強化指定審判員担当インストラクタースキルアップ研修会に参加させていただきました。

講義を通じて、審判員が判定を導いたプロセスと視点に我々インストラクターの見え方を加え、より審判員が納得感を持ち、次戦への改善に繋がられるような指導・助言の構築を目指していきます。

今研修会で学んだことを生かし、強化指定審判員の一人ひとりに寄り添った的確なフィードバックへと繋げて、審判員と共に私自身も研鑽を積んで参ります。

結びになりますが、今回ご指導いただきました村山様をはじめ講師の皆様には感謝申し上げます。